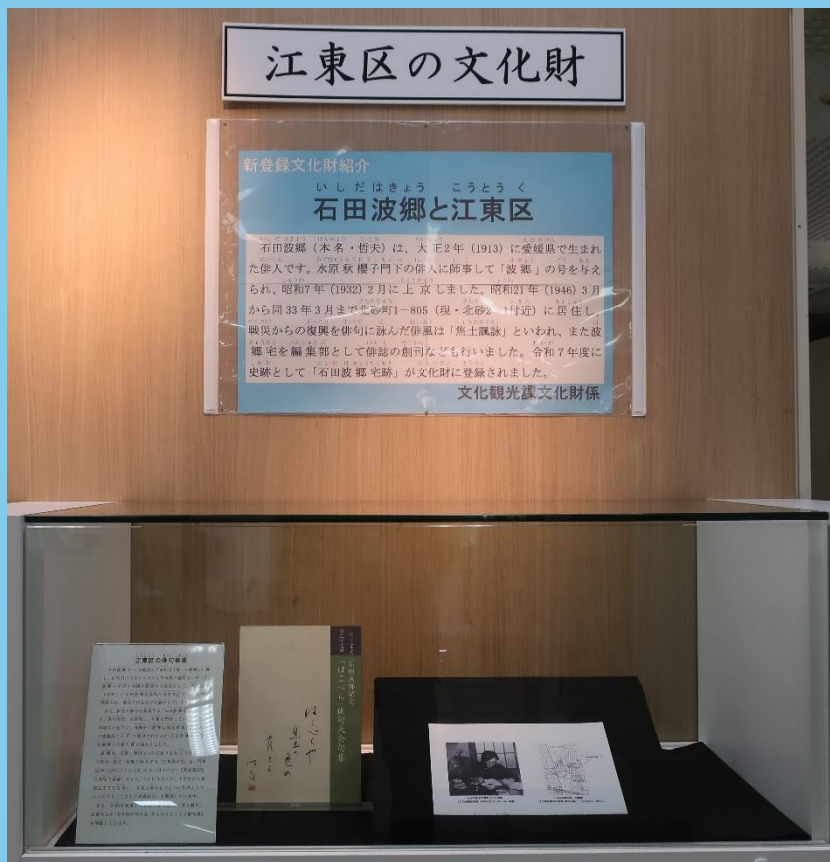


新登録文化財紹介

いしだ はきょう こうとう く 石田波郷と江東区

いしだ はきょう ほんみょう てつお たいしょう えひめけん はいじん みずはらしゅうおうし
石田波郷（本名・哲夫）は、大正2年（1913）に愛媛県で生まれた俳人です。水原秋櫻子
もんか はいじん しじ はきょう ごう あた しょうわ しょうきょう しょうわ
門下の俳人に師事して「波郷」の号を与えられ、昭和7年（1932）2月に上京しました。昭和
21年（1946）3月から同33年3月まで北砂町1-805（現・北砂2-1付近）に居住し、戦災から
ふっこう はいく よ はいふう しょうどふうい はきょうたく へんしゅうぶ はいし そうかん
の復興を俳句に詠んだ俳風は「焦土諷詠」といわれ、また波郷宅を編集部として俳誌の創刊な
ども行いました。令和7年度に史跡として「石田波郷宅跡」が文化財に登録されました。





きたすなまちじゅうたく さつえい は きょう
北砂町住宅で撮影された波郷

(石田波郷記念館 (砂町文化センター内) 所蔵)



石田波郷宅跡

いしだ はきょうたくあと いちす
「石田波郷宅跡」位置図

(『江東区都市計画図_管内白図 1 : 10,000』 (部分))

こうとう く はいくじぎょう 江東区の俳句事業

いしだ はきょう 12年間住んだ砂町を「第二の故郷」と称し、俳句だけでなくエッセイや写真の
題材としました。波郷の生涯と功績を顕彰する施設として、平成12年（2000）に石田波郷
記念館が砂町文化センター内に開設され、遺品や作品などを展示しています。

また、新作の俳句を募集する「石田波郷記念「はこべら」俳句大会」を開催し、句集を刊行し
ています。2025年度の大会では、清瀬市（波郷は病気療養のため同地の療養所に入所）で
開催されていた「石田波郷新人賞」を継承した新人賞が加わりました。

波郷は、江東・墨田などの江東5区を自ら取材して俳句・短文・写真で紹介する「江東
歳時記」を、昭和32年（1957）3月から同33年2月にかけて『読売新聞』江東版で連載しまし
た。これにちなんで、小学生から高校生までもを対象に、写真と俳句をひとつの作品としたコンテ
スト「こども江東歳時記」を開催しています。

また、平成26年度から学校で俳句教育に取り組み、江東区立小・中学校俳句大会「きらり☆
こうとう俳句祭」を開催しています。